

ひろしま



市社協通信

2019 SUMMER

NO. 68

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
2019年6月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)
URL: <http://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

会長挨拶

令和に思う

広島市社会福祉協議会
会長 永野正雄



広島市社会福祉協議会会長の永野正雄でございます。本年6月19日開催の本会理事会において会長に選定され、引き続き大役を仰せつかることになりました。地域福祉活動の一層の推進に取り組み、皆様から信頼され、お役に立てるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

さて、令和という新しい時代を迎え、新時代の幕開けに対する社会の期待は大きいように感じます。

平成は、明治以降で初めて戦争のなかった平和な時代でしたが、バブル景気崩壊とその後の長引く不況や、相次ぐ自然災害の発生など、様々な停滞や混迷、困難を経験した時代でもありました。また、少子高齢化の進行や家族形態の変化などにより、社会を取り巻く環境が大きく変わり、社会的孤立や地域のつながりの希薄化、所得格差の拡大や子どもの貧困など様々な生活課題を生み出しています。

こうした課題解決のため、令和の時代において、社会福祉協議会への期待は増々大きくなっていくものと思われます。

広島市社会福祉協議会においては、平成29年度に「地域福祉推進第8次3か年計画」を策定し、住民・市民、民間団体、行政と協働し、地域福祉を一層推進するため、計画の着実な実施に努めています。

計画期間が残り2年となる中、今後、次の課題について重点的に取り組んでまいります。

まず、地域共生社会の実現に向け中核的な役割が期待されている地区社会福祉協議会について、実際にその役割を果たすことができるよう、必要な支援策を広島市と協議・検討していきます。

また、今日高い関心が寄せられている地域における高齢者、障害者等の権利擁護体制の構築について、行政、裁判所等と検討等を進めていきます。

さらに、平成26年8月や昨年7月の豪雨災害対応などでの教訓を活かし、災害ボランティア活動への参加意識の醸成と支援体制の整備に取り組んでいきます。

また、広島市社会福祉協議会の組織体制については、より身近な地域での包括的な相談支援体制づくりを目指し、「くらしサポートセンター」の全区展開に続き、福祉サービス利用援助事業「かけはし」のサブセンターを市内2か所に設置します。

本会は、令和の時代も、「すべての人に居場所や役割があり、多様性を認め合い、支え合いのあるまちをつくろう。」という、「地域福祉推進第8次3か年計画」の基本理念の実現に向け積極的に取り組んでまいりますので、皆様のより一層の御協力、御支援をよろしくお願いいたします。

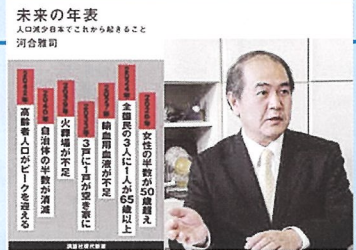
介護予防・日常生活支援総合事業市民啓発研修会「未来の年表」河合雅司氏講演会 ～私たちの地域にこれから起こること～

「未来の年表」著者でジャーナリストの河合雅司氏をお招きし、今後日本に起こりうる「高齢者人口のピーク」「人口減少」等の問題について、具体的に私たちの日々の生活に何が起きていくのかをしっかりと受け止め、これからの広島、地域の未来と一緒に考える機会として開催します。

日時 ①8月10日(土) 18:00～20:00 ②8月11日(日) 10:00～12:00

場所 ①安佐南区民文化センター ホール ②広島市総合福祉センター ホール (BIG FRONT ひろしま 5階)

定員 ①600名 ②400名



申込み 申込み：氏名、参加会場、連絡先、所属等を記載の上、電話・FAXまたは、E-mailで、8月5日(月)までにお申し込みください。
TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413 E-mail：chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp



成年後見制度講演会・ 広島市市民後見人養成研修事前説明会 開催



誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域住民としての視点から、認知症や障害などにより判断能力が十分でない方を支援する「市民後見人」の活躍が期待されています。広島市社会福祉協議会では、社会貢献に意欲と熱意のある市民の方を対象に、第2期の「広島市市民後見人養成研修」を実施する予定です。

今年度も、養成研修を実施するに先立ち、成年後見制度について理解を深めていただく講演会とあわせて、市民後見人養成研修の事前説明会を開催します。

この講演会・事前説明会は、市民後見人研修の受講を検討されていない方でも御参加いただけます。成年後見制度について知りたい方、市民後見人に興味がある方の御参加をお待ちしています。お申込みは下記の開催日時のうち、どちらかを選んでお願いします。

※なお、講演会・事前説明会への参加が、市民後見人養成研修の受講要件となりますので、御注意ください。

テーマ	日時	会場	成年後見制度講演会 講師	説明会 説明者	定員
「成年後見制度講演会」	7/7(日) 13:30～15:30	広島市総合福祉センター ホール (広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま 5階)	日野 真裕美 弁護士 松田 佐智子 司法書士	広島市・ 広島市社協 (職員)	各 100人 (先着順)
「広島市市民後見人養成 研修事前説明会」	7/15(月・祝) 13:30～15:30				

問合せ 申込み先 社会福祉法人広島市社会福祉協議会 生活支援課 福祉サービス利用援助係 TEL 732-0822 広島市南区松原町5-1 広島市総合福祉センター (BIG FRONT ひろしま 6階) TEL 082-264-6406 FAX 082-264-6437

2019 ひろしまフラワーフェスティバル



5月3日(金)～5月5日(日)の3日間、2019ひろしまフラワーフェスティバルが開催されました。3日間天候にも恵まれ今年も多くボランティアに活動いただきました。パレードやふれあいの広場、車いす介助ステーションにおいて総勢127名のボランティアの参加がありました。

おかげをもちましてイベントも盛り上がり、無事終了することができました。ありがとうございました!!



この記事に関する問い合わせ先▶ ボランティア情報センター TEL：082-264-6408 FAX：082-264-6416

告知 災害を通して地域づくりを考えるシンポジウムの開催

日時 7月20日(土) 13:30～15:50
会場 広島市総合福祉センター ホール
(広島市南区松原町5番1号)
BIG FRONT ひろしま 5階
定員 200名(先着順)

対象 地区(学区)社会福祉協議会、地域団体、ボランティア組織、NPO、これから地域福祉活動に取り組もうと考えている人
内容 平成30年7月豪雨災害で実際に活動した実践者からの報告等
申込み 所定の申込書に必要事項をご記入の上、電話・FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

問合せ 申込み先 社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 ボランティア情報センター TEL：082-264-6408 FAX：082-264-6416 E-mail：voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

地区社協の拠点紹介 西区・大芝地区社会福祉協議会

大芝地区社会福祉協議会（以下、大芝地区社協）は、「平成30年度 地区社協活動拠点づくり応援助成事業」を活用し、大芝集会所の2階に、これまでなかった地区社協の拠点（事務所）を立上げました。



大芝地区社協 米崎会長

地区社協の拠点には様々な機能があり、またその特色は地区によって異なりますが、大芝地区社協では主に、事務作業に活用しています。

以前は自宅で事務作業を行っていたそうですが、拠点ができたことにより書類の管理・保管が容易になり、事務作業がスムーズになったそうです。

主な事務作業は米崎会長と新宅副会長が担っているそうですが、お二人が顔を合わせて話し合いながら作業できるのも、拠点のメリットですね。

少しスペースが手狭なこともあり、現在は事務機能がメインのこちらの拠点ですが、地域の方々が集まる集会所に設置できたことを活かし、新しい地域交流の機会をつくるなどの活動ができないかと検討中とのことです。これからの活動も期待しています！

見学させて
もらいました！



入口からみた事務所内



大芝地区社協 新宅副会長

この記事に関する問い合わせ先▶地域福祉推進課 地域福祉係 TEL:082-264-6403 FAX:082-264-6413

マツダ株式会社の福祉車両寄贈について

マツダ(株)は、Zoom-Zoom スタジアムの命名権を獲得した平成 21 年から、入場者 100 万人達成ごとに市内の障害者施設に福祉車両を寄贈されています。

昨年(平成30年)の9月22日で累計入場者数が 1,800 万人を達成したことを受けて、平成 31 年 4 月 9 日の贈呈式において、福祉車両 1 台を(社福)広島市手をつなぐ育成会に贈られました。

こうした活動が、障害のある人の暮らしや願いを理解しあうことにつながっています。



この記事に関する問い合わせ先▶地域福祉推進課 事業係 TEL:082-264-6404 FAX:082-264-6413

平成30年度のご協力ありがとうございました。

平成30年度は、募金額82,375,155円(平成31年3月31日現在)のご協力をいただきました。これも、町内会・自治会の役員の方々をはじめ、市民の皆様の深いご理解とご支援によるものと心よりお礼申し上げます。

お寄せいただきました募金は、皆様のお住まいの地域の身近な福祉活動や、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動など、地域に密着した事業に活用されます。また、地震や豪雨などによる大規模災害が発生した際に、被災地での支援活動資金に充当される「災害準備金」として毎年一定額が積み立てられます。また、共同募金では、平成30年7月豪雨災

害をはじめとし、大阪北部地震や北海道胆振東部地震などにおける被災者支援のための災害義援金も受付しています。

平成30年度は、広島市域分の取扱いとして、15,012,050円もの義援金が寄せられ、被災地域の共同募金会を通じて、被災者支援のために活用されています。

皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも、赤い羽根共同募金への皆様のご支援とご協力を、お願い申し上げます。



まごころ銀行へのご協力 ありがとうございます。

本会まごころ銀行に、次の皆様から尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。
【平成30年12月21日～平成31年3月31日(敬称略・順不同)】

●物品預託者

【よしもとゲバント劇場公演チケット】
中心市街地にぎわい創出推進協議会
【車いす】 西部方面曹友会

【食器・調理器具等】 中国電力株式会社

皆様からお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

◆この記事に関する問い合わせ先◆

【総務課】

TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

問い合わせ先 広島市共同募金委員会 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437
〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま6階 広島市総合福祉センター内

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会賛助会員を募集しています

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた(貴社・団体・個人)も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、身近な地域で福祉のまちづくりを進める地区(学区)社会福祉協議会の活動等で使わせていただきます。

【賛助会費】 法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円

※口数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

賛助会員へのご協力ありがとうございます

次の方々からお申込みいただきました。
【平成30年12月15日～平成31年3月31日(敬称略・順不同)】

法人 2件 6口

個人 17人 32口

石田 浩巳、吉田 正男、榎 武志、平田 健志、向井あゆみ、

藤野 理恵、法村 輝美、江角 友希、影久 香、三吉 和恵
その他 7人

平成30年度の賛助会員に加入していただいた方々

【平成30年4月1日～平成31年3月31日】

個人: 1,830人 2,841口 2,841,000円

法人: 101件 171口 1,710,000円

法人(施設): 33件 66口 660,000円 (生活困窮者再建リポート事業)

合計 5,211,000円

ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。これからも、地域福祉を推進する本会をご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに、今年度も引き続き、賛助会員としてご支援をお願いいたします。

◆この記事に関する問い合わせ先◆

総務課 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

平成31年度 事業計画(重点事業)

- 福祉のまちづくりを進める活動を推進します**
 - 助成事業を活用した地区社協活動拠点づくりの推進を図る。
 - 区社協を通じた地区社協への福祉のまちづくりプラン策定の働きかけを行う。
 - 生活支援体制整備事業、介護予防・日常生活支援総合事業を活用した地域づくりを推進する。
 - 地区社協が期待される役割を果たすことができるよう、体制の整備等必要な支援策を広島市と協議、検討を行う。
- 多様な市民活動を応援します**
 - 若年層、壮年層のボランティア増加につながる学習及び活動場面の開拓を行う。
 - 災害ボランティアの養成や地域におけるボランティア活動マニュアル作成支援等による支援体制の整備に取り組む。
 - シニア世代が地域で活躍できるよう活動の場の開拓や就労やボランティア活動へのつながりを行う。
 - 地区社協やボランティアグループ、民間団体による先駆的、開発的取組に対する資金助成により、活動の立上げ及び継続と波及に努める。
- 一人ひとりの暮らしを受け止め、つなぎ、ささえます**
 - 広島市くらしサポートセンターの全区配置による生活困窮者が相談しやすい体制整備を図る。
 - 福祉サービス利用援助事業(かけはし)の推進と、西部(西区・佐伯区)と北部(安佐南区・安佐北区)エリアを受け持つサブセンターの設置を進める。
 - 法人後見受任の急速な伸びを受け、後見支援員の導入や事業推進体制の強化を図る。
- 社協の組織・財政の充実協力を図ります**
 - 地域住民の期待に応えるため、市、区社協組織体制の見直しと強化を行う。
 - 自主財源の確保に取り組むとともに、自主財源の有効活用を行う。

平成31年度予算の概要

単位：千円

収 入	会費収入	8,970
	寄附金収入	4,750
	市補助金収入	777,163
	助成金収入(共募除く)	1,000
	共同募金助成金収入	42,542
	受託金収入	346,061
	事業収入	8,186
	受取利息配当金収入	2,784
	その他の収入等	21,008
	前期末支払資金残高(繰越金)	76,349
		計 1,288,813
支 出	法人運営等	248,646
	まごころ銀行	33,001
	福祉大会・広報	14,648
	福祉のまちづくり支援	61,126
	区社協育成	341,061
	広島市シニア応援センター事業	20,395
	生活再建サポート事業	2,101
	ボランティア活動支援	44,595
	災害被災者援助事業	7,000
	日常生活自立支援事業	90,065
	成年後見事業	18,553
	受託事業	293,946
	会館等管理事業	52,702
	基金運営	31,413
	貸付事務	20,812
ちびっこ広場整備事業	5,918	
シニア大学	2,831	
		計 1,288,813

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)			
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK18-13568 2019.1.16作成〉